

## 一人一題

### 井上秀二氏

近頃の技術家には中々雄辨家がありませんが以前は技術家に辯舌の文章は餘り要がない様に思はれたものでした。

其様な社會状態の中にあつて土木學會が創立され、而して其土木學會第一回の講演會壇上に現はれた人が實に井上秀二氏でありました。

其時井上氏が述べられた『軌近ニ於ケル水ノ清淨法ニ就テ』を云ふ題の講演は流暢なるものでありました。此の異彩ある雄辨は當時の技術界に非常な注意を喚起し土木學會の爲めに大に技術家を以ての氣を吐いたものでした。

雄辨を言ふものは人間の眞剣なる人格的意識の發露したものであるを信じて居りますが、當時井上氏は確かに其種の雄辨家であつたと思はれます。現在に於て記者の

知る井上氏は圓滿なる社交的人格を表現した技術家である様に思はれます。

京都市の上水道や横濱の上水道工事は總て井上氏の手によつて纏められたもので世間周知の事であります。

Mr Hideji Inouye, the Assistant Director of the Construction Department of the Tokyo Electric Light Company.



東京電燈株式會社  
建設副部長 井上秀二氏

現在井上氏は日本一の電氣會社たる、東京電燈株式會社の建設副部長として、傍、又、土木學會の主事として公人としての多忙な務をして居られますが、謠曲其他趣味の廣い點は氏の私生活が如何に平和な、而して精神的にゆたかなものであるかゞ伺はれます。今や氏は京大第一期の先輩として多くの後進を持つて居られますが、本年

まだ五十二歳の働き盛であります。